

昭和の時代に許されていた事

専業主婦

たゆ子



昭和の時代
かつて日本の
どこにでも見られた
ありふれた風景

町はずれの
うらぶれたアパートの一室に
若い新婚夫婦が暮らしていた

湧水たゆ子 専業主婦

傍から見た彼女は
幸せな新婚生活の
真っ只中にいる

誰もがそう思った

だがその夫婦生活の実態は
外からはうかがい知れぬ
深刻な問題をかかえていた…



はい……はい……
……すみません
いえ、そんな……つもりは
はい……、はい……
申し訳ありません

その、できれば
もう少し待っては
もらえないでしょうか……
来週中には何とか……

なんでもしますんで……
何卒よろしく願います
……

はい……
はい……

今日もたゆ子は
日々の支払いの催促に
苦悩していた
生活は夫婦二人で
暮らしていくのにすら
苦しかった



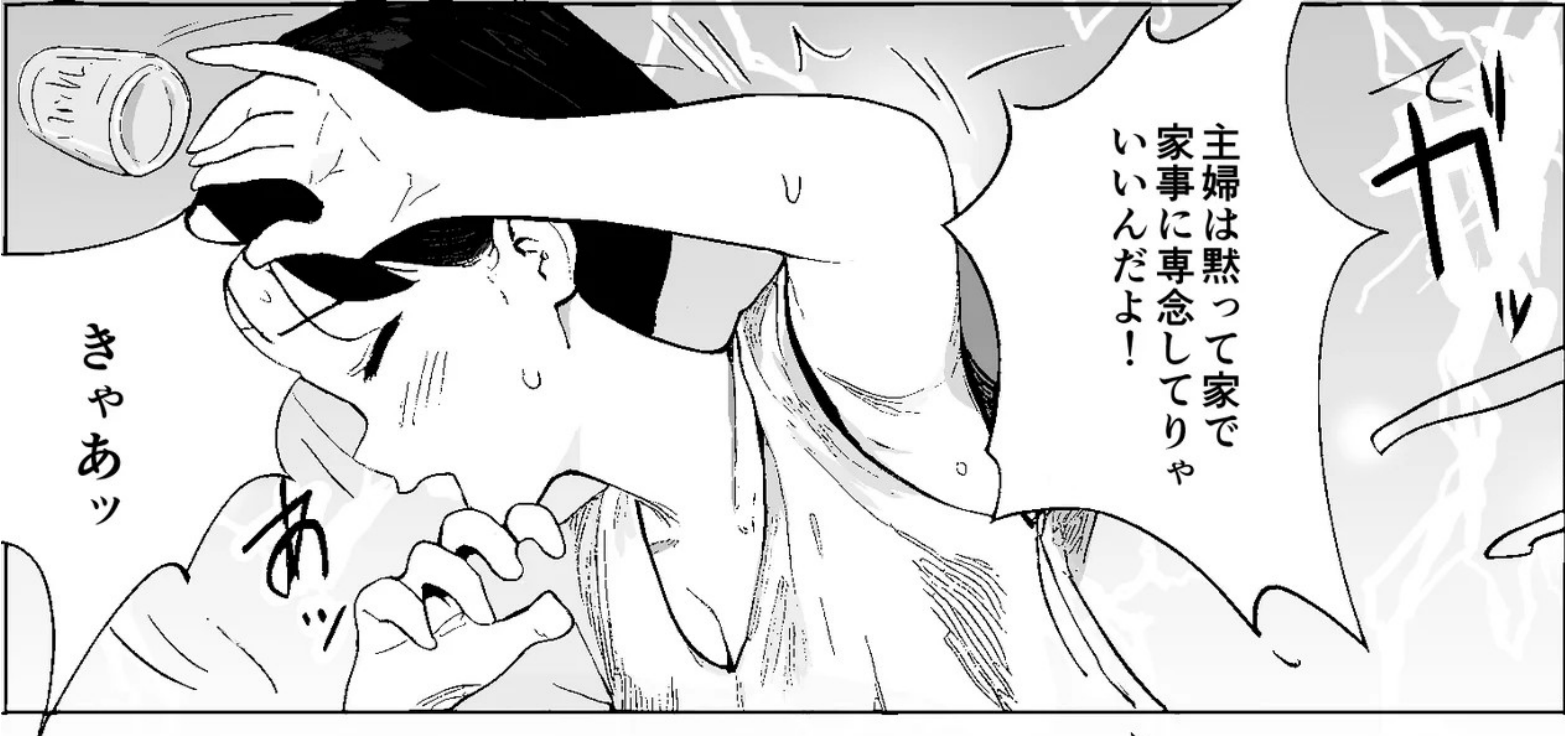
なんだお前は！
亭主に口答えするのか！

何のとりえもない
主婦の分際で！

ふざけるなっ！
パートに出たいだど？
俺の稼ぎが
少ないとでも
言いたいのかっ！

家計のやりくりは
女房の役目だろうが！

す、すみません…



主婦は黙って家で
家事に専念してりや
いいんだよ！

きゃあッ



外に働きに出る
なんて絶対
許さんからな

嫁は嫁らしく
家にいてちゃんと
亭主の世話をしろっ！

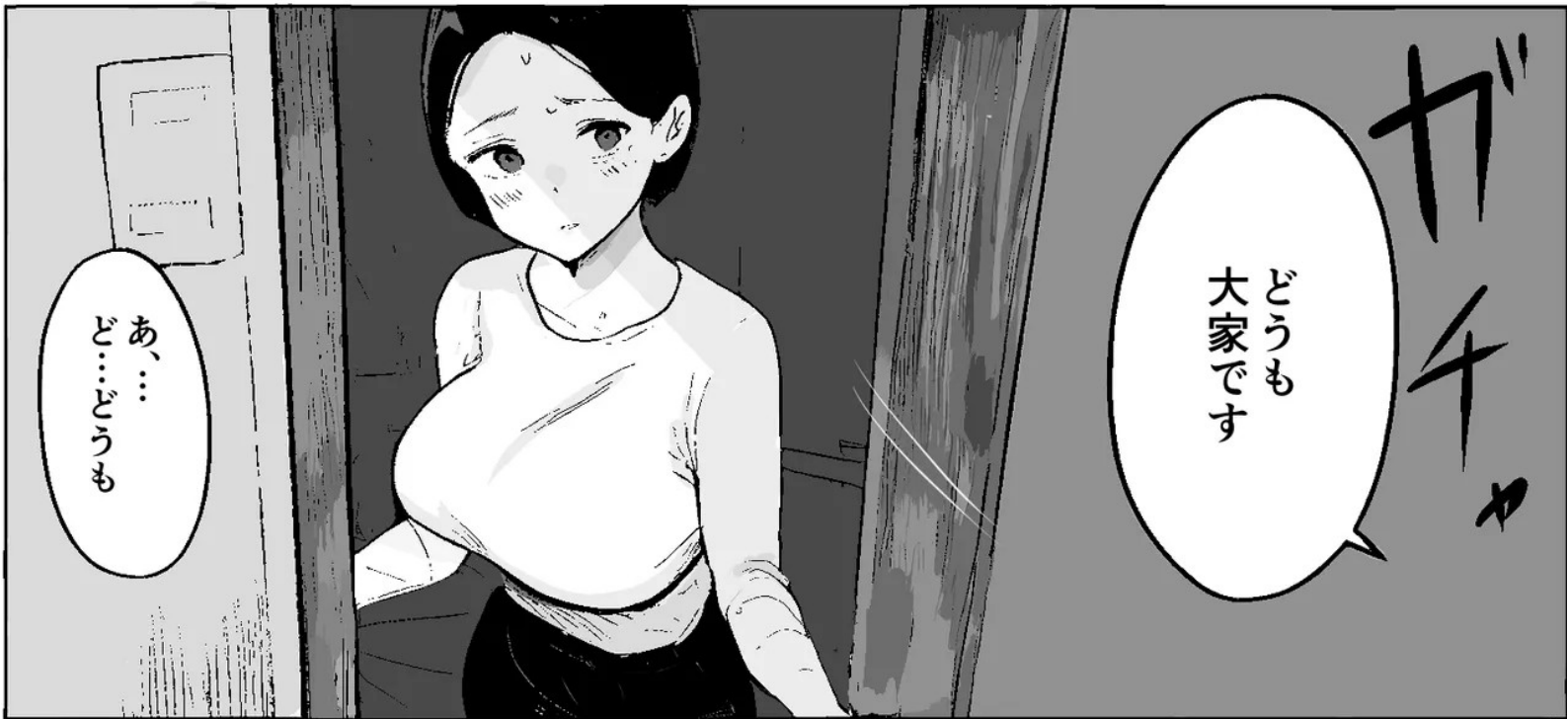


ごめんなさい……
ごめんなさい……



湧水さん

ありすみません




あ...
どうも


どうも
大家です




すみません
家賃のほうは...




もう半年も滞納
しているんですよ



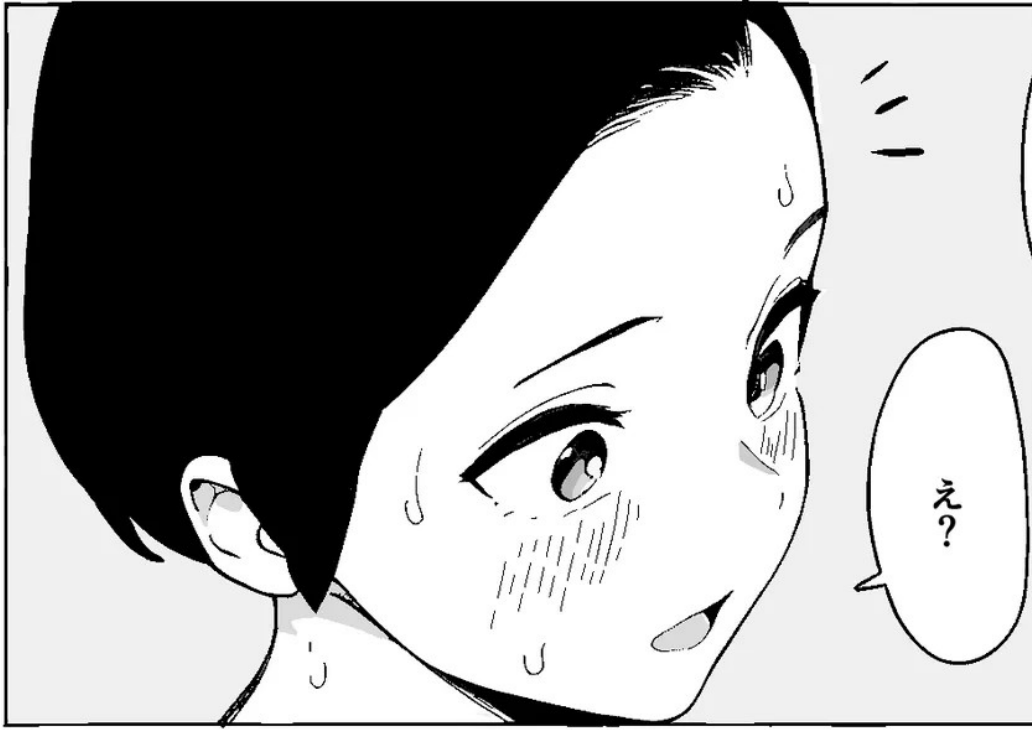
いいかげん
払ってもらわないと



お財布の事情が
苦しいのは
わかりますが：
私としても
これ以上待つのは…



…そうですよ
………



それに：
お隣からも
苦情来ている
んですよ

え？



夫婦喧嘩の音が
うるさいってね

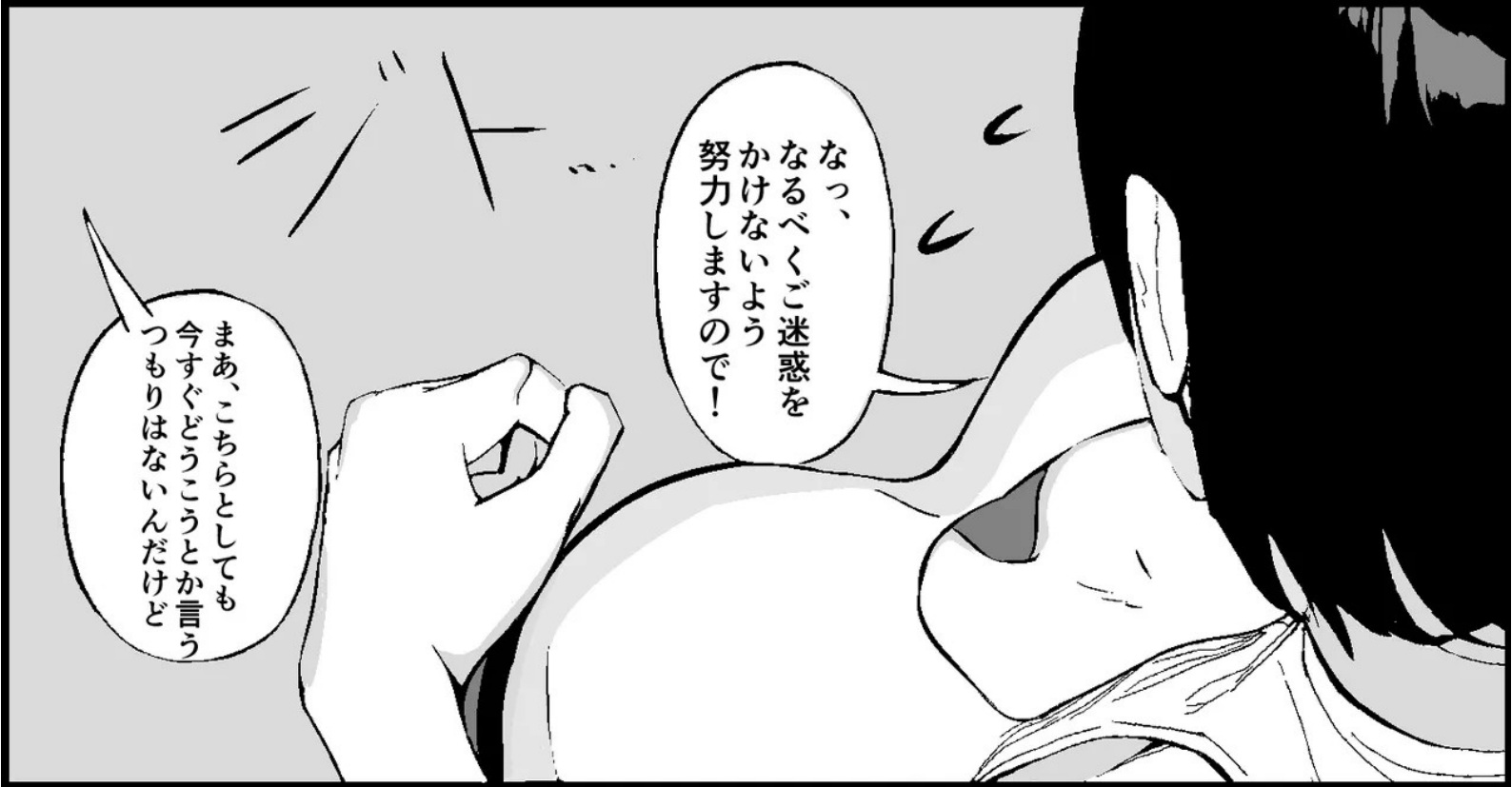
『迷惑だから
静かにさせろ』
って



隣の入居者さん：
なんか『ヒッピー』
みたいな人でねえ
ややこしくて

こちらとしても
あまり揉め事
なあってほしく
ないんですよ

このままだと
出ていって
いただくこと
になるかも…



なっ、
なるべくご迷惑を
かけないよう
努力しますので！

まあ、こちらとしても
今すぐどうこうとか言う
つもりはないんだけど



アアア

.....




.....奥さんも
大変だろうけど
あんまり無理は
なさらないで下さいよ

だがその後も
金策のめどが
立たず


とうとうたゆ子は
大家に苦しい内情を
打ち明けることに
:




奥さん
正直に言ってくれ



今どのくらい
借り入れがあるんだ？



えっ！…そんなにも
ご主人には内緒の借金が…
…さぞ苦しかりょうに



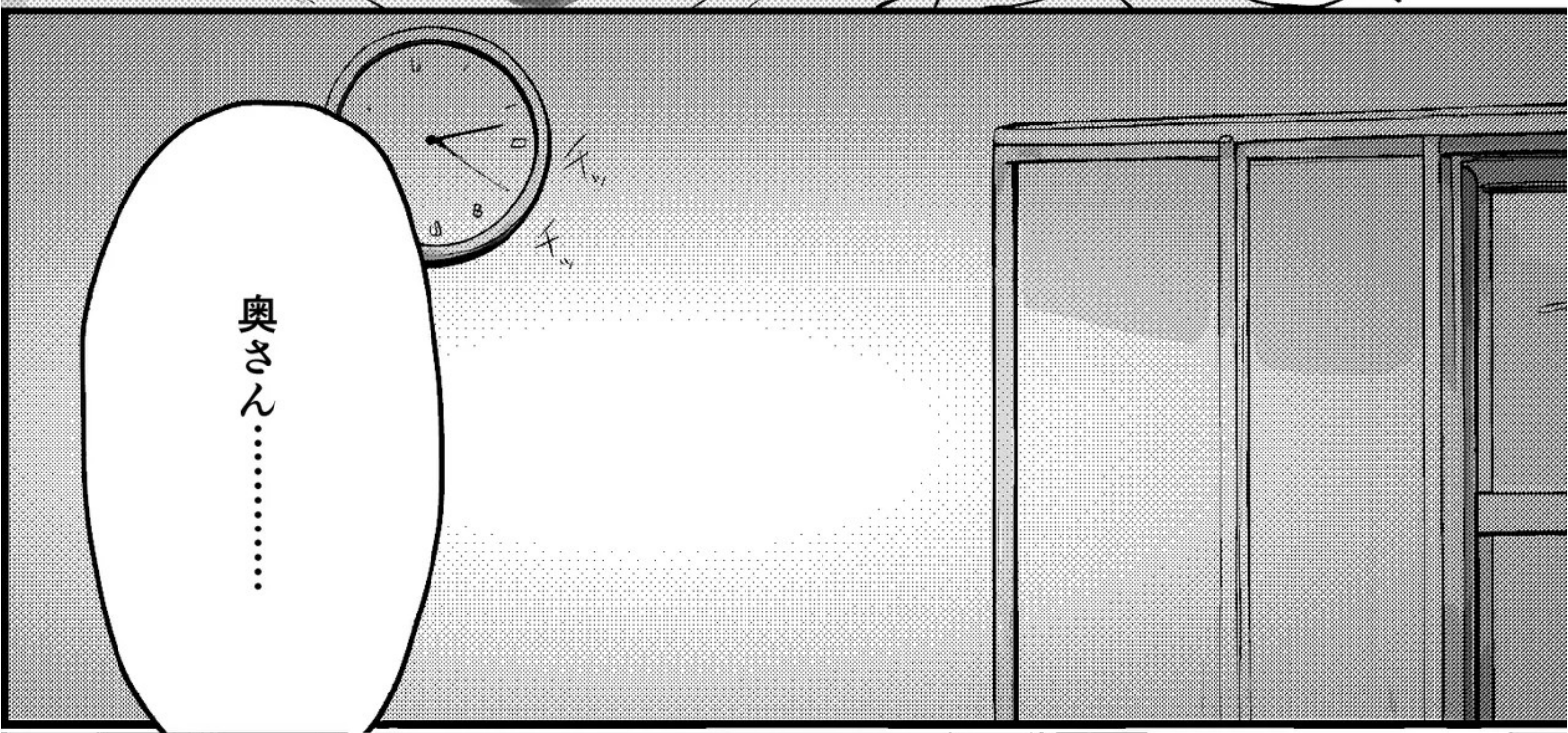
そんな大金…
返すめどは
あるのかい？



その…

どうしても無理なら…
主人のいない間に
風俗で働いてでも
返そうかと…

ホロ…



奥さん……………



一人でそんな
ところまで
思いつめて
いたとは…

グス…

ヨシわかった……
もし、
奥さんが本気で
そこまでの覚悟が
あるんなら

風俗で働く代わりに
その……
ワシに対して
『シて』くれんか？

えっ？

ワシをその、
風俗の客だと
見立てて……

もっ、もちろん、その分
家賃の都合はつける！
無理には言わんが……
アンタさえよければ……



ワシもひさしく
女性と縁遠くてな…

じゅる…

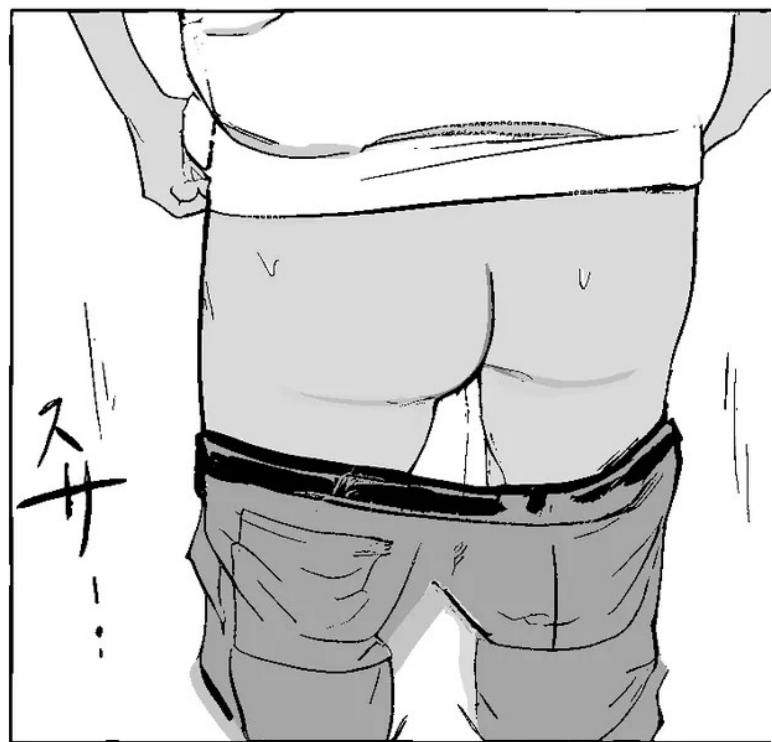


さびしかったんじゃ…

そうすることで…本当に
家賃の支払いを
待ってくれるのですか？

えわえわ.

(…すごい
勃起してる…)





こんな大胆に見せつけられて…

思わず息をのんだ



他の選択肢を考える
余裕などなかった



その誘いは
悪魔のささやきにも
天の救いにも感じた



汚いチンポですまんが
たのむ

(うっ、臭う……)

すい

本当は…夫に対しても
したことない…けど

んっ
んっ

♡

♡



おおっ

チロ
チロ



いいよ
すぐく

気持ちいいよ
たゆ子さん



やるしか…ない

ハッハッ
ハッハッ



ジュッ!!



はあ...はあ...
スグ
イっちゃった

たゆ子さん
あんた上手
だねえ

ありがとうございます
すごい久しぶりで
気持ちよかったですよ

あんなに
すぐイカせられる
とは思わなんだ
ハハ……

だら

い、いえ……
それで……その
家賃のほうは……

あ、ああ……
そりゃもちろん、
こんなにまでして
くれたんだ。
今月分は免除ね

また困ったら
遠慮なく言ってよ
むしろそっちのほうが大歓迎……
なんつってね……ハハ

……ありがとうございます……

だが、たゆ子の家の
経済的困窮は
相変わらず続き……



はい、
今月もまた：
よろしくお願ひします

はい…今日は主人がいない
予定ですけど

あと、少しばかり
支援していただけると
助かります

…なるべく早めに
お待ちしております



…どうぞ
中へ



大家です。
おじゃましますよ



悪いね。いつも
付き合ってもらって



今月も苦しい
んだらう？
安心なさい

すみません
いつも…



そろそろ
たゆ子さんの
ハダカが
見たいなあ

がしっ

いつまでも
下着姿までじゃ
ワシも
我慢できんよ

毎月安くない
お小遣いも
持ってきて
あげてるんだ

ねえ
いいだろう？
おっぱいくらい見せて

(……今まで何とか
誤魔化して
やり過ごしてきたけど……)



(さすがにもう
断りきれない……)



(ついに……!
ずっとあこがれていた
バストが……!)

ほ、ほオ……、
すごい……デカくて
キレイなおっぱいだよ
たゆ子さん

そ、その……ちよっと
触っても……
舐めたりしても
いいかな……?

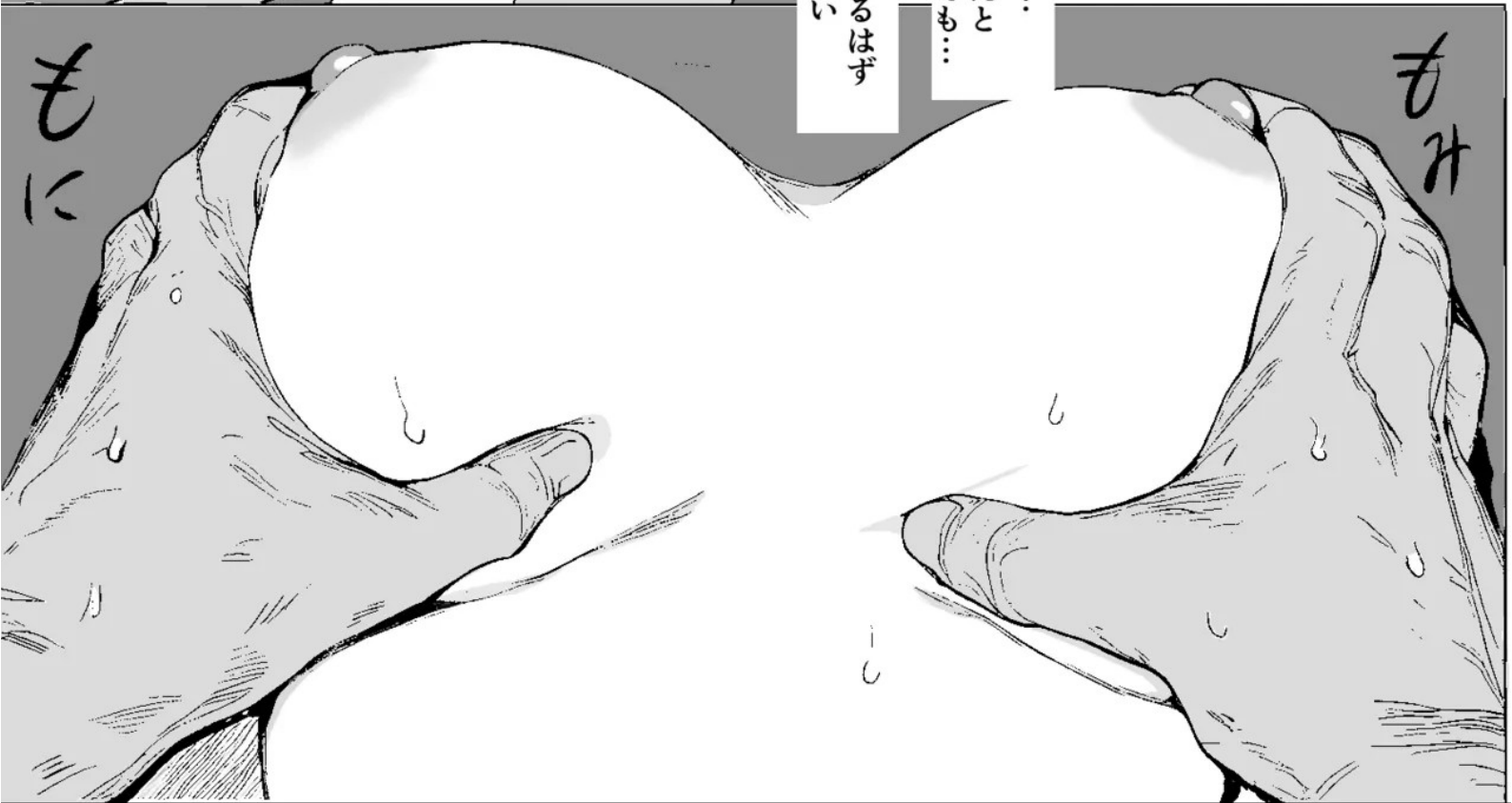
オホッ

ピクッ



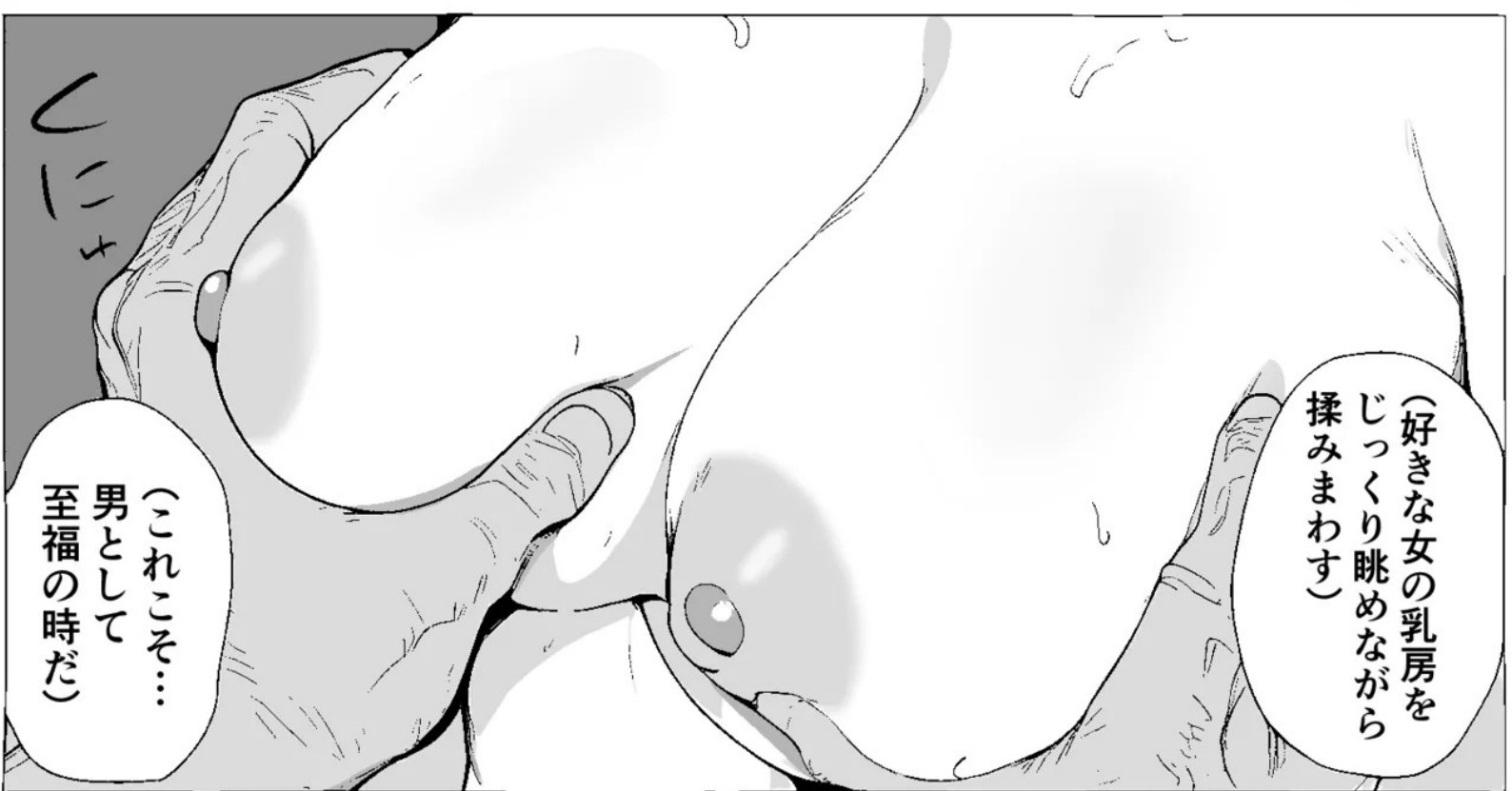
……………
ど、どうぞ

今さら…
イヤだと
言っても…
やめるはず
もない



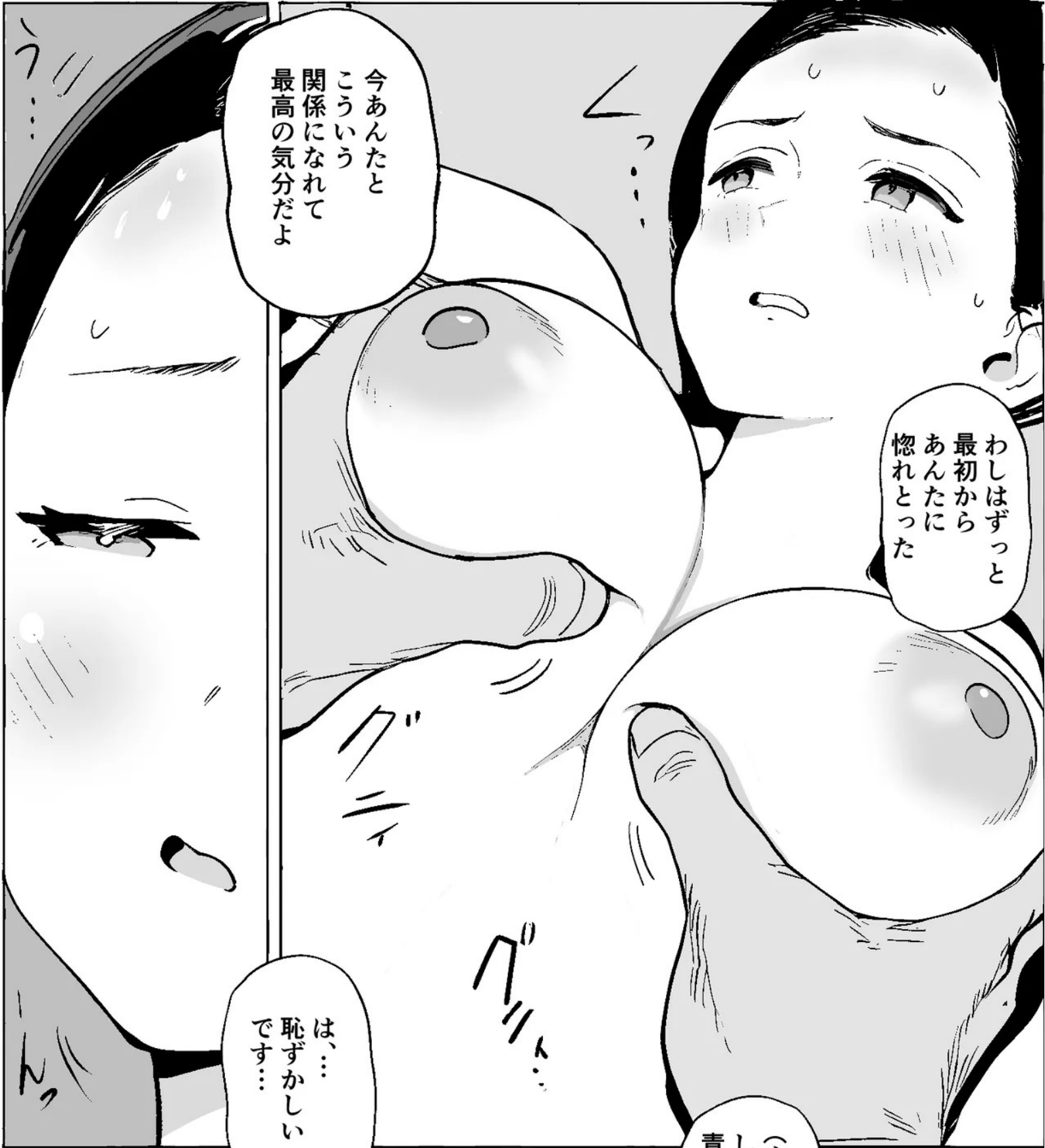
も

み



(好きな女の乳房を
じっくり眺めながら
揉みまわす)

(これこそ…
男として
至福の時だ)



今あんたと
こういう
関係になれて
最高の気分だよ

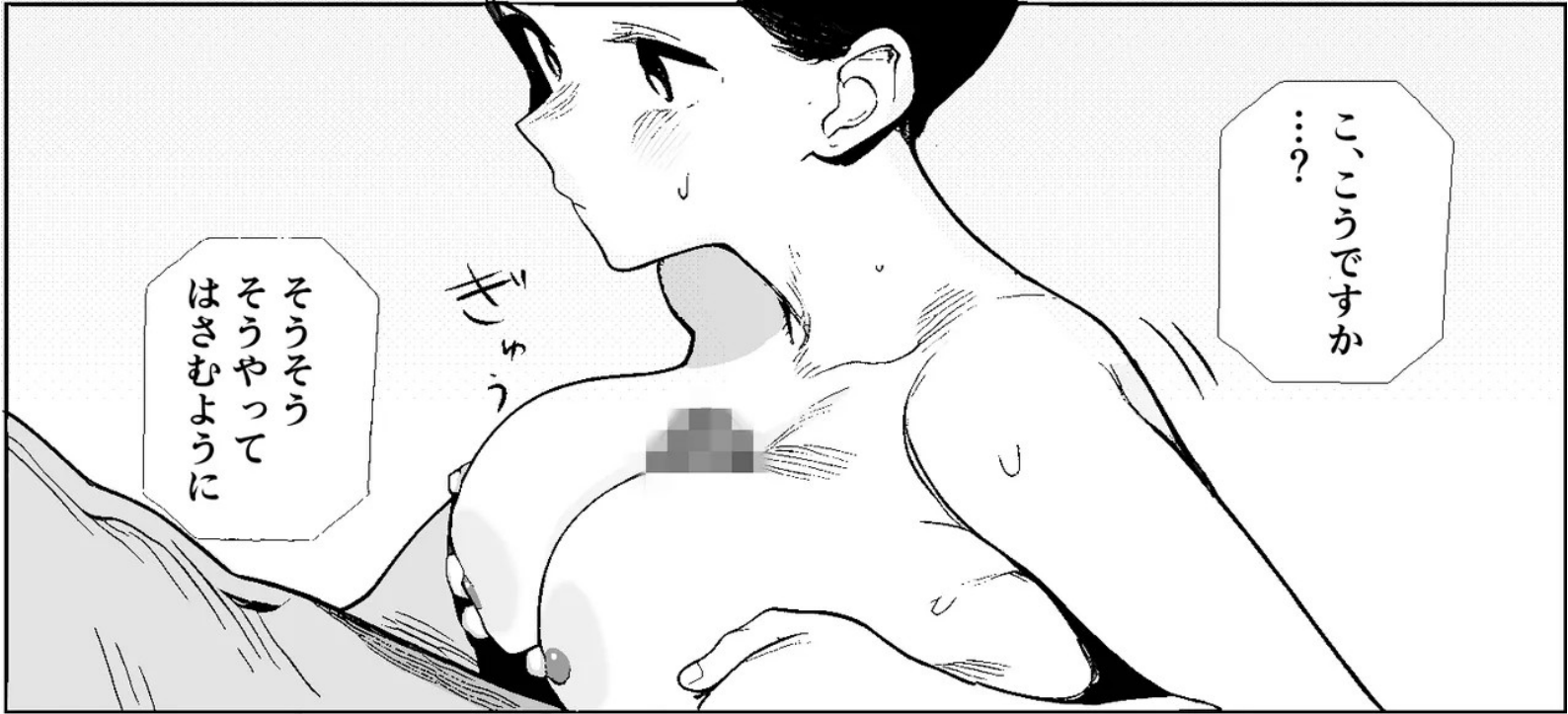
わしはずっと
最初から
あんたに
惚れとった

は…
恥ずかしい
です…

(すごい鼻息で
しつこく乳首を
責めてくる…)

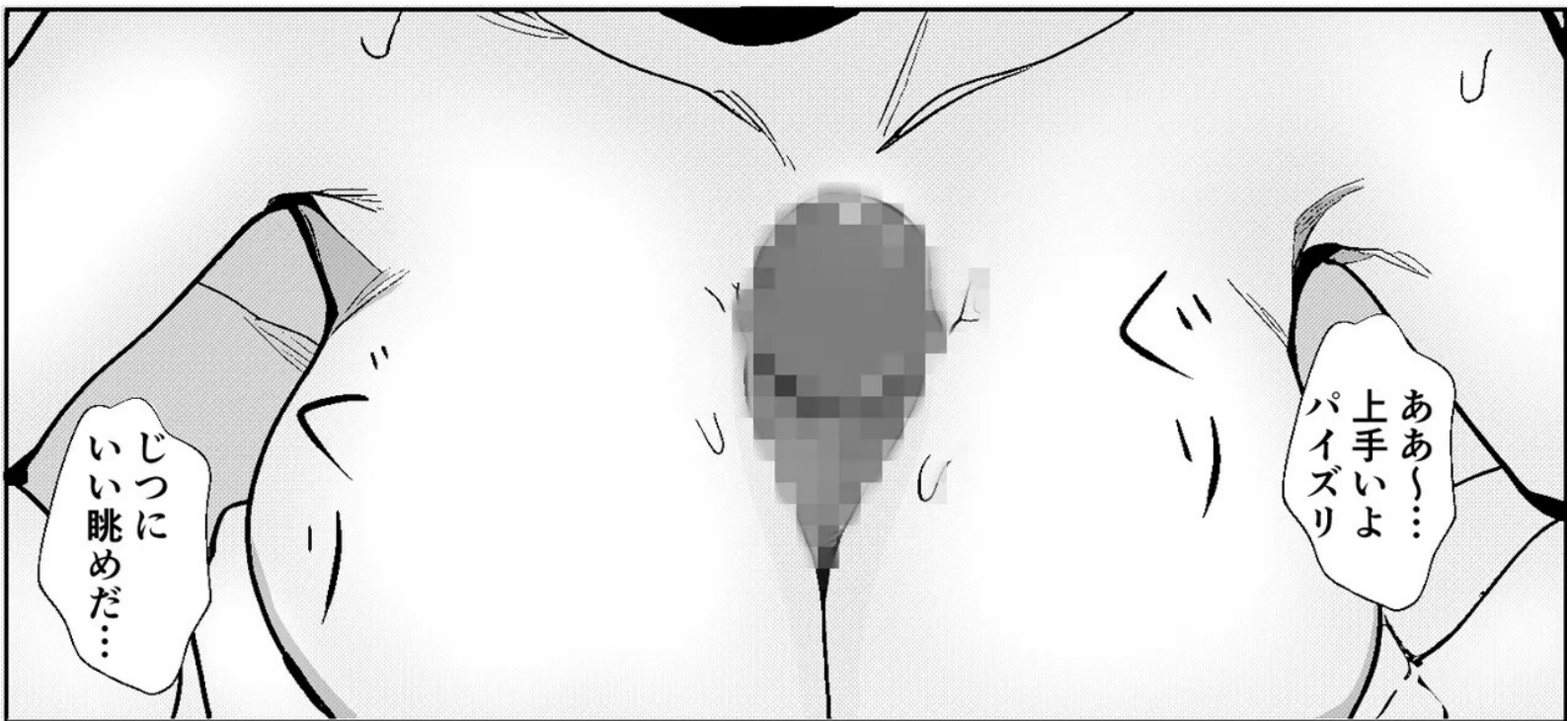
(けど…
どんなに
いやらしい
ことをされても
辛抱しなければ…)





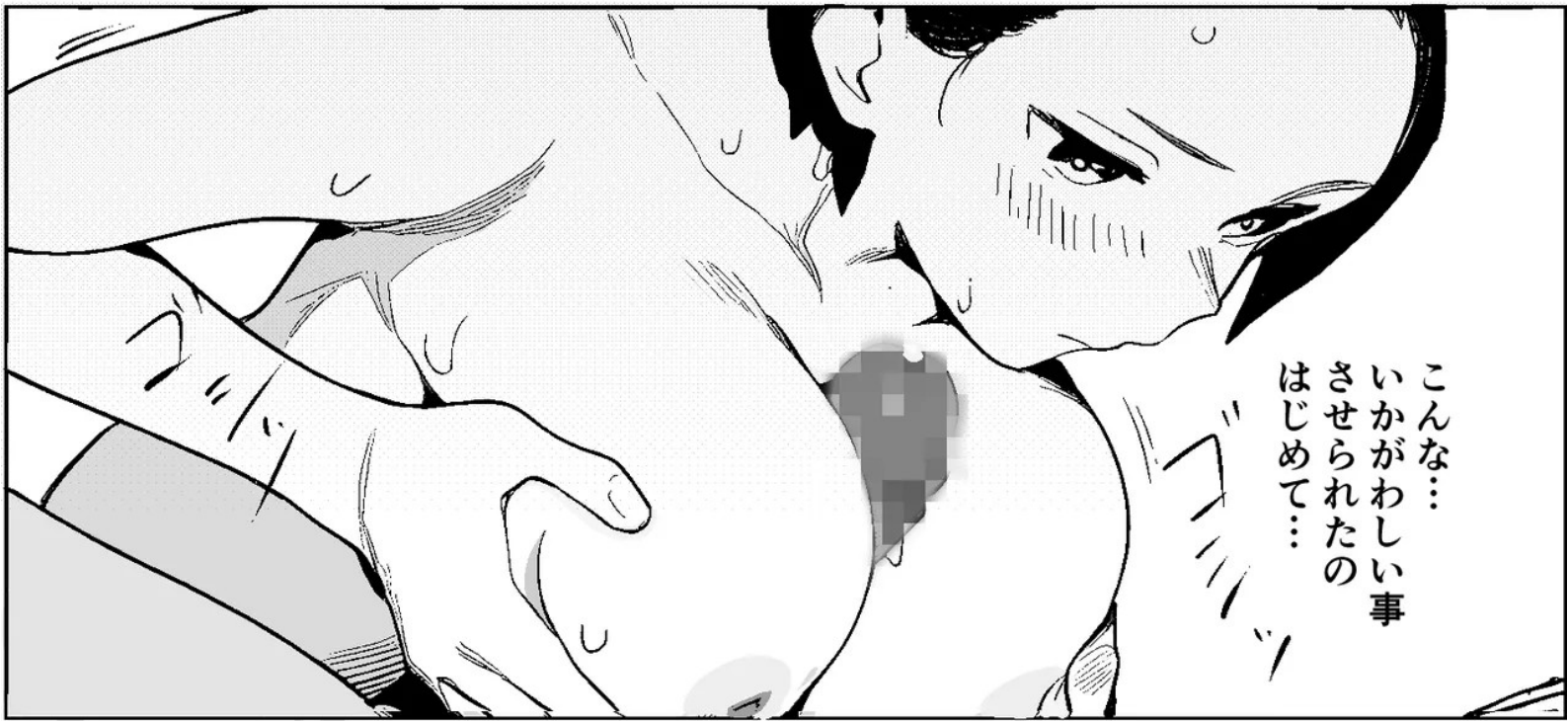
ここ、こころですか
…？

そうそう
そうやって
はさむように



ああ…
上手いよ
パイズリ

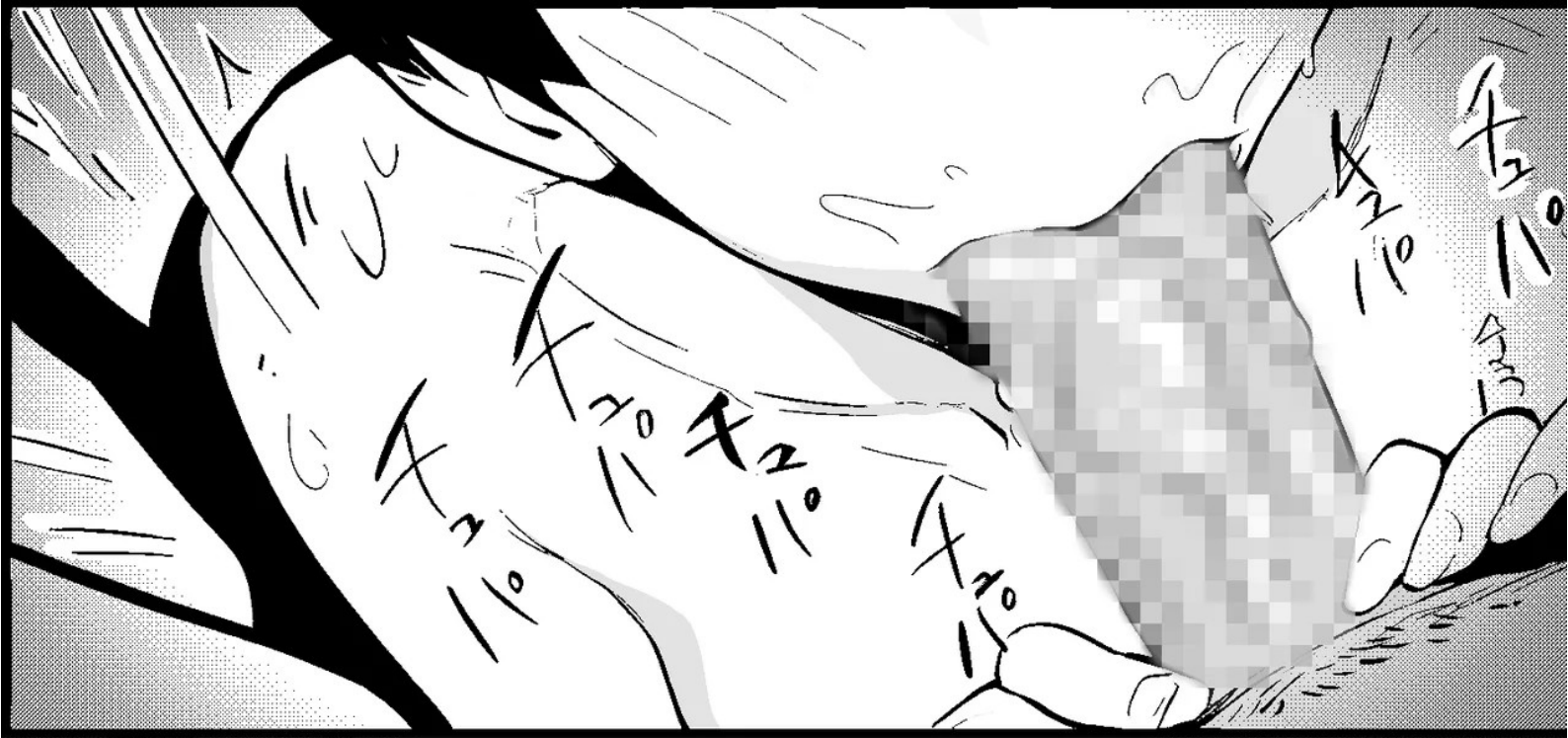
じつに
いい眺めだ…



こんな…
いかがわしい事
させられたの
はじめて…







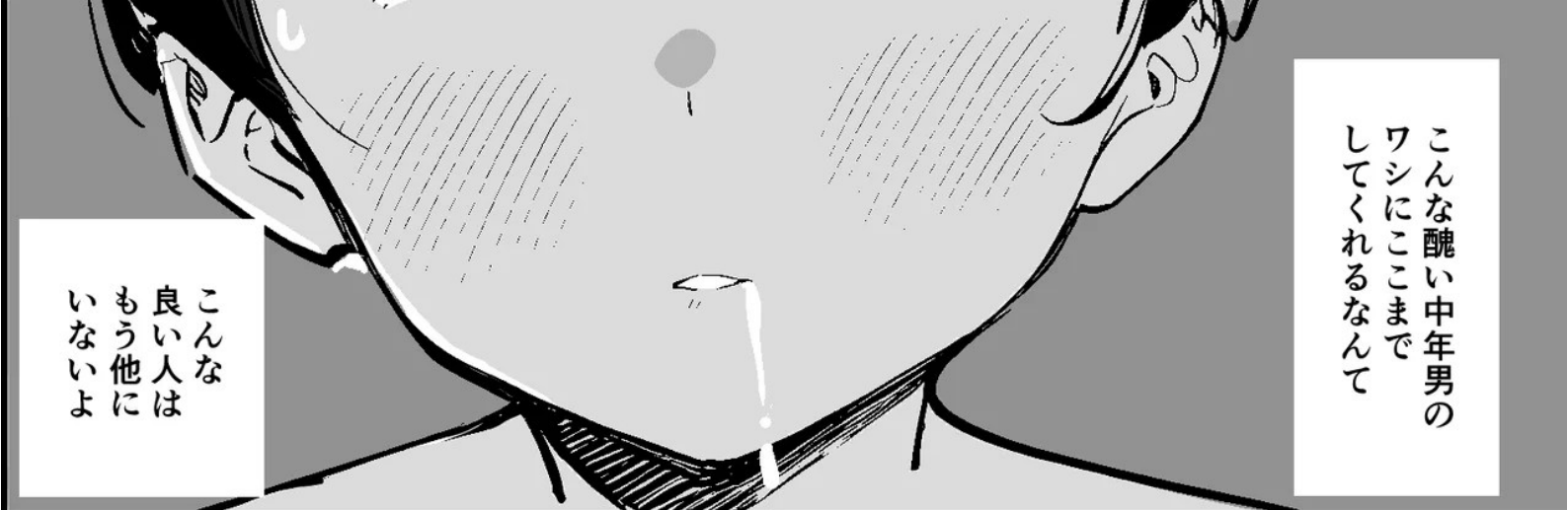


うおっ
出るッ！



まさか、こんな
激しく尺八
してくれるなんて！


まるで若い頃のように
ドバっと出た！



こんな醜い中年男の
ワシにここまで
してくれるなんて


こんな
良い人は
もう他に
いないよ

たゆ子さん




ワシはあんたを
大事にしたい

少なくとも、
あのご主人
よりかは：



その日を境に
大家の欲望は
暴走気味に
エスカレートしていく



たゆ子も
もはやそれを
拒み続けることは
不可能だった

そして
ついにその日…



たゆ子さんっ！

もうワシ
ガマンできん！

ぶちゅっ

ぎゅっ

いきなり部屋に入るなり
大家はたゆ子に
覆いかぶさってきた

くちびるを重ね
ベロベロ舌をなめくり回し
あちこち胸を触りまくった



ちゅべ
ちゅべ



ずっと
この時を狙っていた！

グググ

たゆ子さん！
ワシはあんたを
好いとる！



チュッ

チュッ


んっ

頼む！思いつきり
抱かせてくれっ




ア

はー
はー



……わかりました
大家さん……

もうこうなったら
男は止まらない。
たゆ子にもそれはわかっていた
ついに……たゆ子は観念した……



(…しょうがない)

(ごめんなさい
あなた……)

はあ

はあ

どうして
欲しいんだい
言っでござらん
たゆ子

好きなように…
揉んでください

はあ…

むぎんゆー

むぎんゆー

そうかい？
じゃあ
遠慮なく…

おもいつきり
肉体を
堪能させて
もらうよ？

(あっ
あっあっ
いいいい
その手の動き！)

(感じるっ感じるっ
ひさしぶりに
こんなに求められて
体が火照るっ)

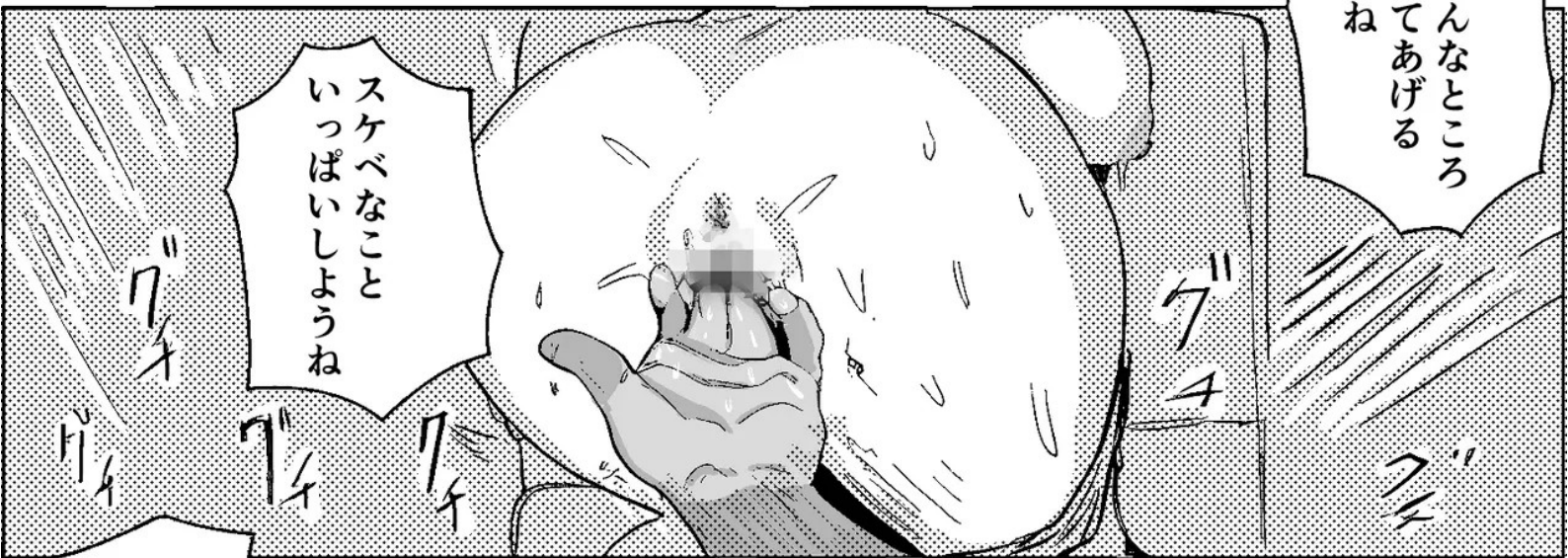
思いつきり
カラダが
ビクビク
反応してるっ





だんだん
その気に
なってきたな

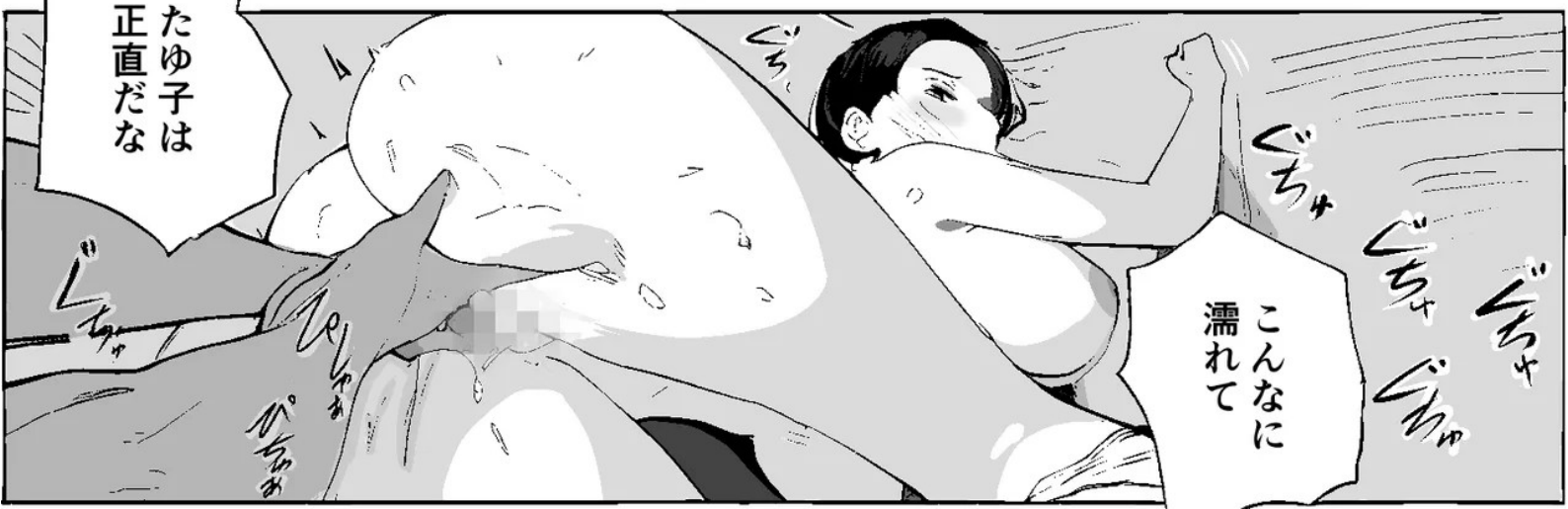
いろんなところ
触ってあげる
からね

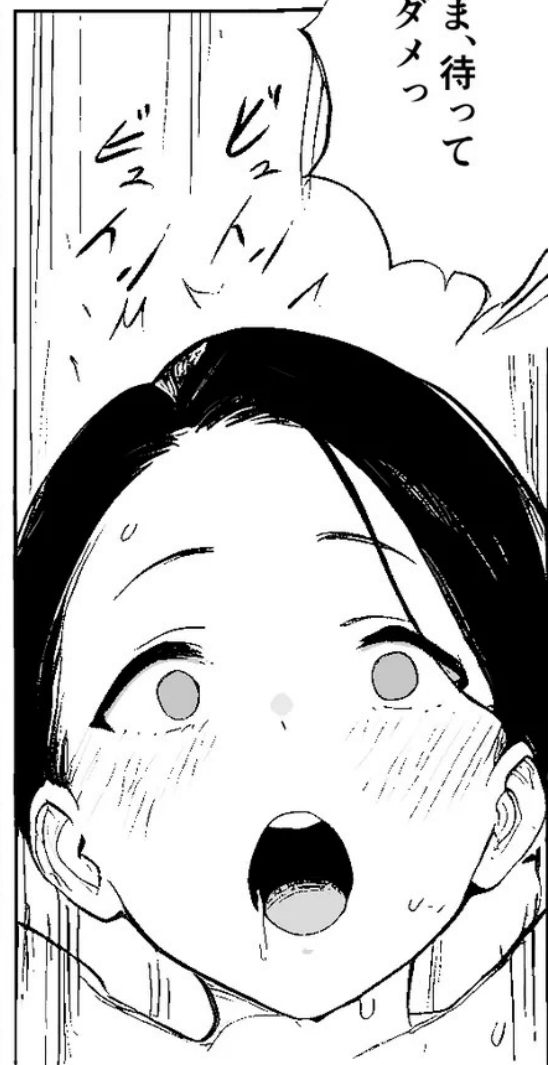


スケベなこと
いっぱいしようね

たゆ子は
正直だな

こんなに
濡れて







挿入されると
こんな表情になるんだ
たゆ子

たゆ子の
もつとエロい
表情が見たいっ

たゆ子も一緒に
気持ちよくなるろう！

うおおおおお

すごいっ
快感が！
脳天に突き
刺さる

たまらん
チンポの刺激たまらんっ
シコシコが止まらない！

あー

あー

あー

あー

ズッザ

ズッザ

ズッザ



うおおおおおおおオッ

はぁん

はぁん

はぁっ

いくぞいくぞっ

グニッ

グニッ

イクッ!

ギギ

ギギ

ズッ





...ッ！

クッ

クッ

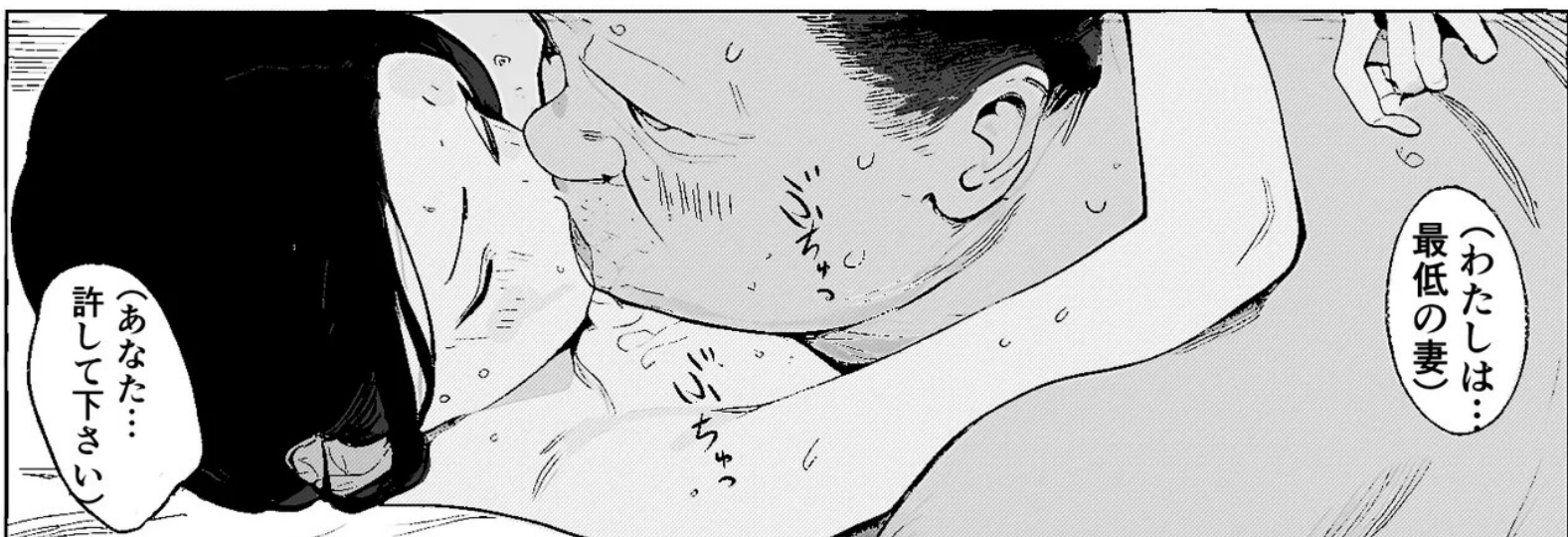
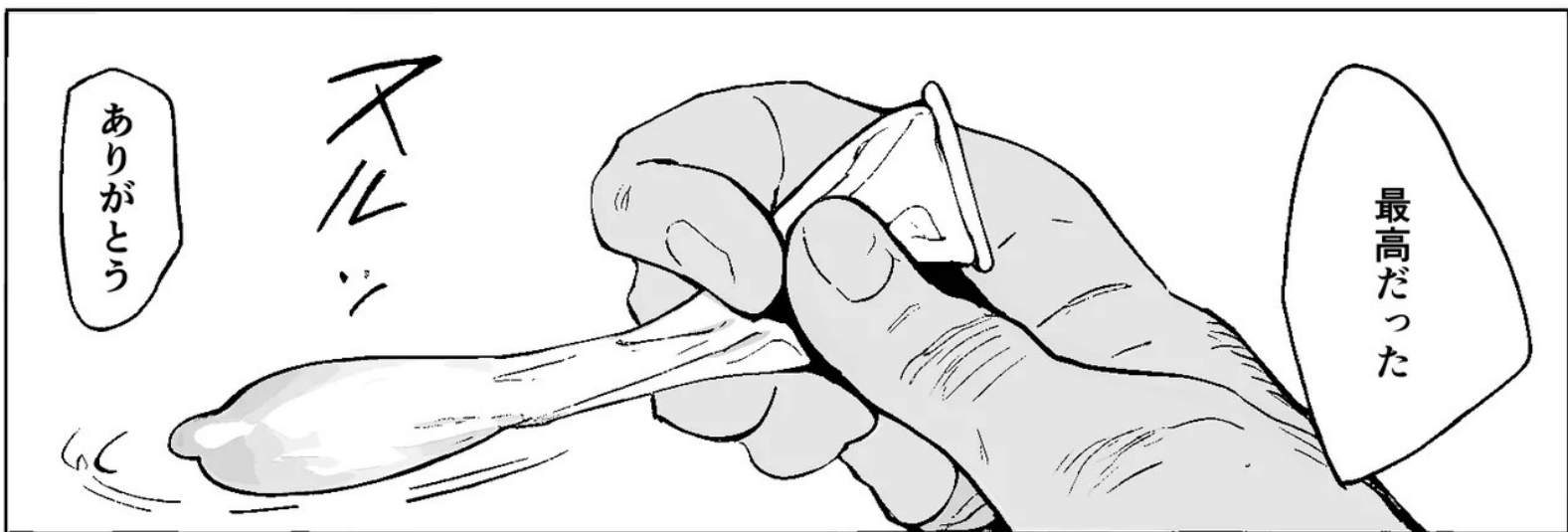
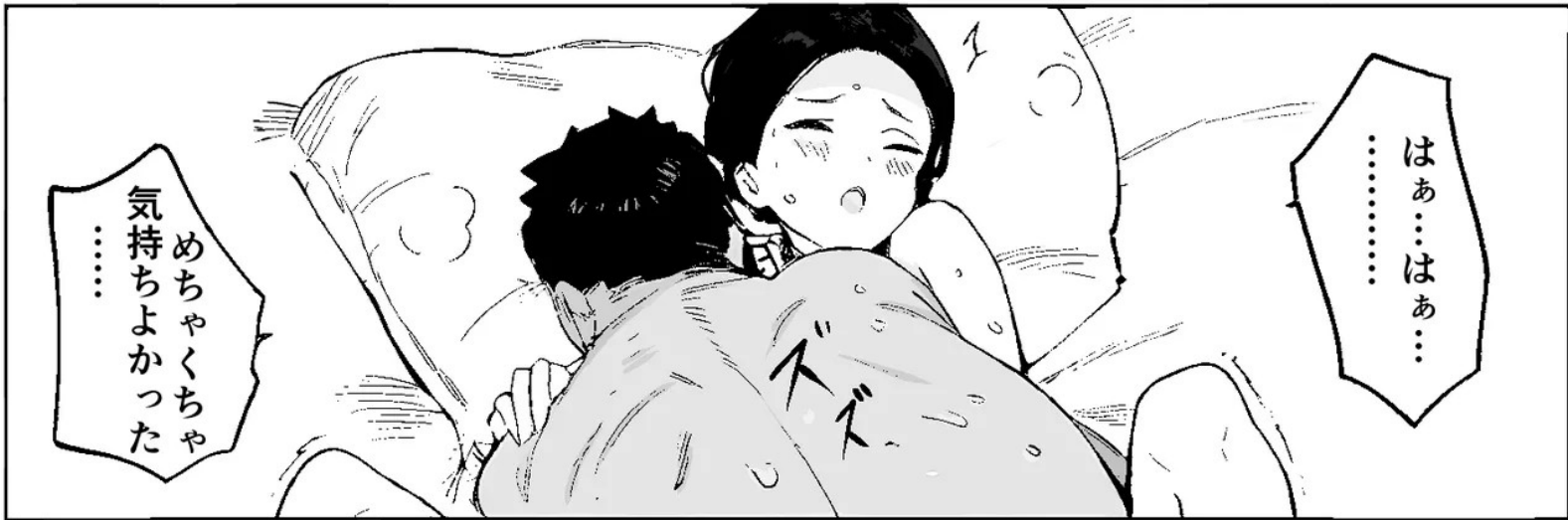
クッ

クッ

.....！

クッ

クッ



やがてたゆ子は
近所のウワサの種に…

ねえ湧水さんの
旦那さん最近
家に帰ってない
みたいよ



あそこのご夫婦
まだ新婚でしょ？
それなのに…ねえ

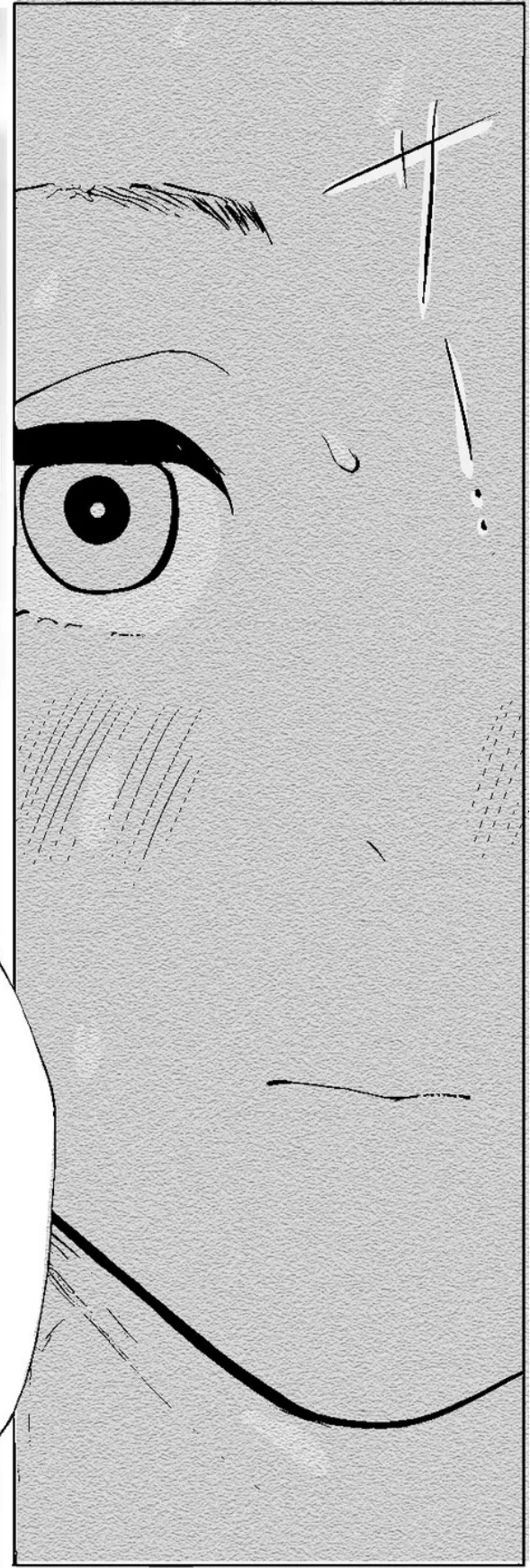
最近はずいぶんアパートの
大家があそここの家に
入り浸ってるらしいのよ
まさか…ねえ

なーアンタ

湧水さんの
奥さん？



オレ、アンタんとこの
隣の住人なんだけど
ちよっと話いいかな？

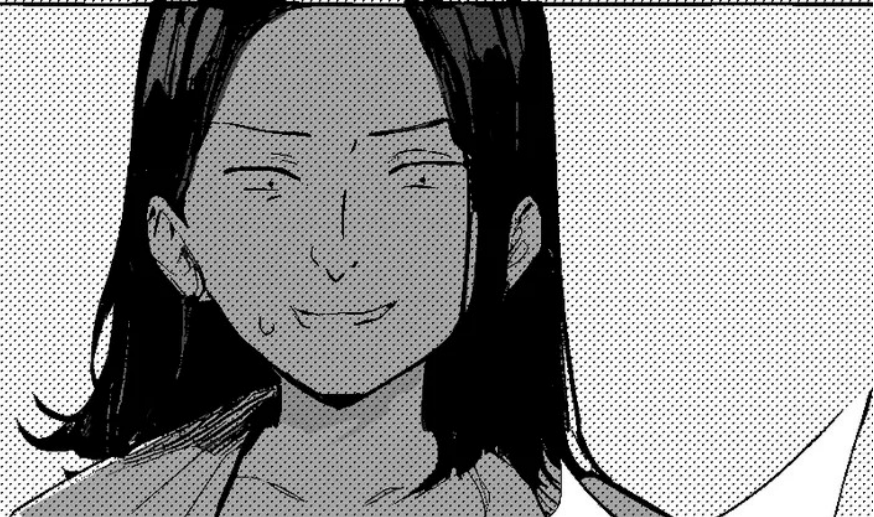


お、お隣さん…
あの…な、何でしょう…？

あのさあ
言いにくいん
だけど




でもまあ
しゃーねーから
言わせて
もらうけど




あんた大家と
不倫してんだろ？

.....!



隣に住んでるとさあ
聞こえてくるんだよ
『アノ時』の声が



気付かれないとでも
思ってたの？

俺もあんまり野暮なこと
言いたかねーけど
ここまで響いて来ると
さすがに近所迷惑じゃない？



あ、あのっ！
す、すみません！
ご迷惑をおかけ
して

以後
気をつけますので…

カアアア……



次からは
ラブホテルで
します、ってか？

いやいや(笑)
そーいうことじゃ
ないっしょ

湧水さんて、確か
新婚さんじゃ
なかったっけ？

ニアア……

こんなベツピンな嫁さんが薄汚い中年の小太りのおっさんに寝取られてるなんて知ったら…



旦那さん一体どう思うかなア？

もし俺が旦那の立場だったら



ブチ切れて何するか分からんなー

ま、別に黙っておいてやってもいいけどよ



その代わり…





ちよっくらオレにも
イイ思いさせて欲しい
んよな〜

別にいいっしょ？
もうすでに夫以外の男に
股開いてんだから(笑)

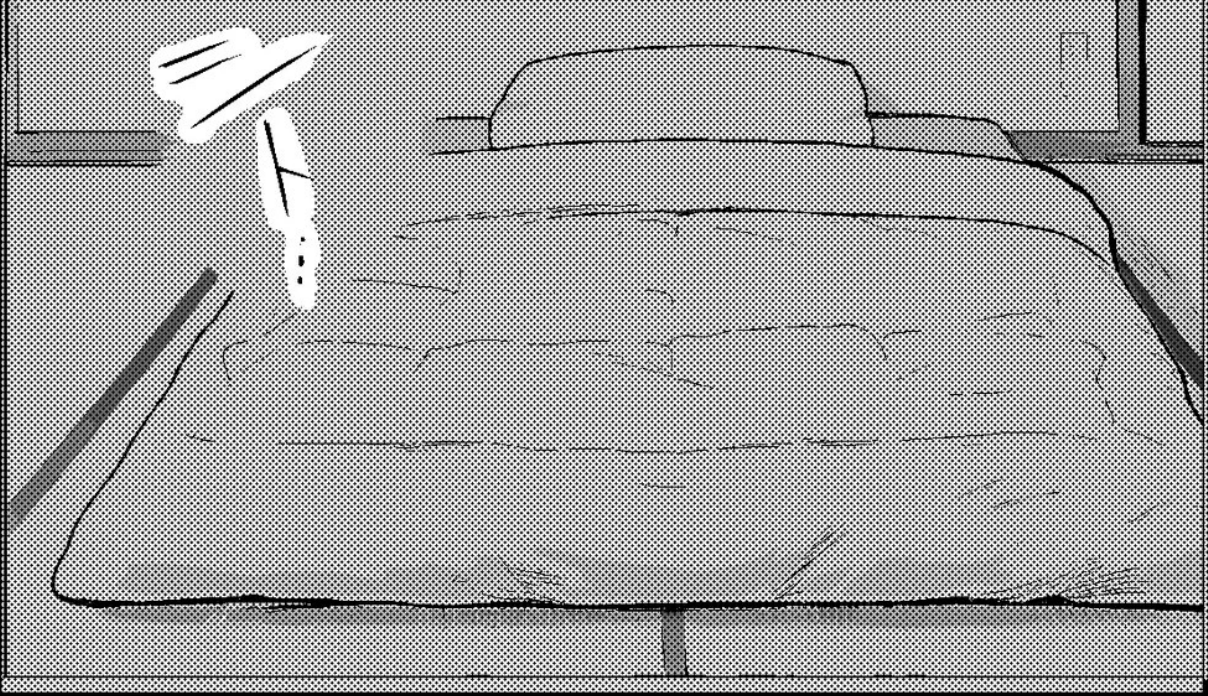
もしダメって言われたら
ダンナさんにチクっちゃ
うかも



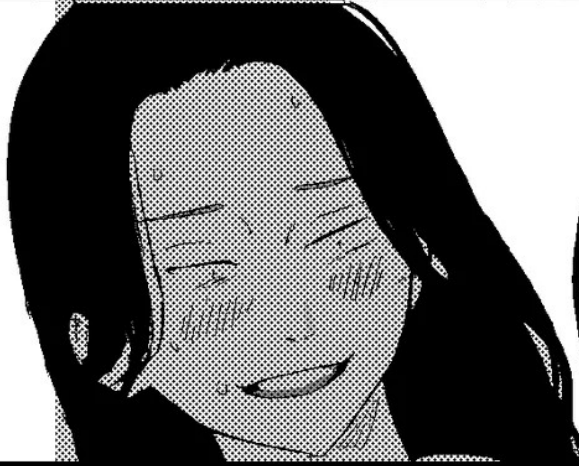
もしこのことが
あの人に
知られたら……
もう私はおしまい

それだけは耐えられない……
絶対に知られたくない！

いつもアンタらが
やってるトコでさあ

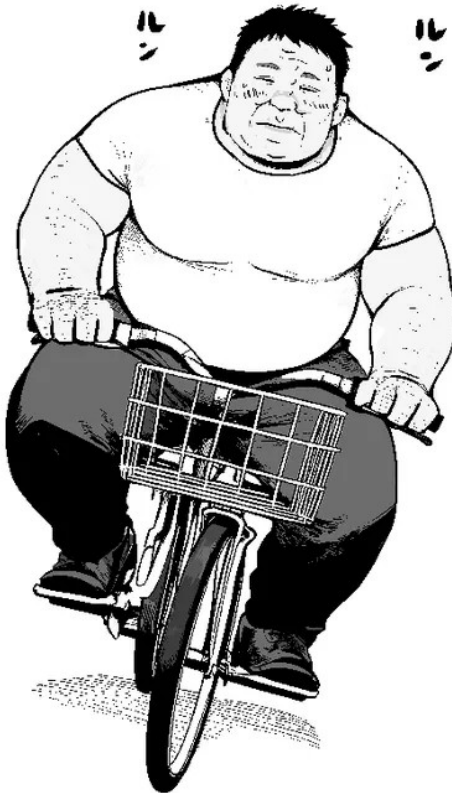


パパつとやっちま
おーぜ



大家がいねーうちに
なあ？

今日は
集金が終わったら
たゆ子さんの部屋に
直行だ♪



楽しみだなあ〜セックス♪



湧水さんの
…ご主人？

やあ
待って

コナン
今来たの



ん…？

あの人は
確か…



ま、まさか…



若い女性と
親しげに話している

そういえば…
最近ご主人が
出張詰めで留守がちと
たゆ子さんに聞いたが

おはよう
ですか？

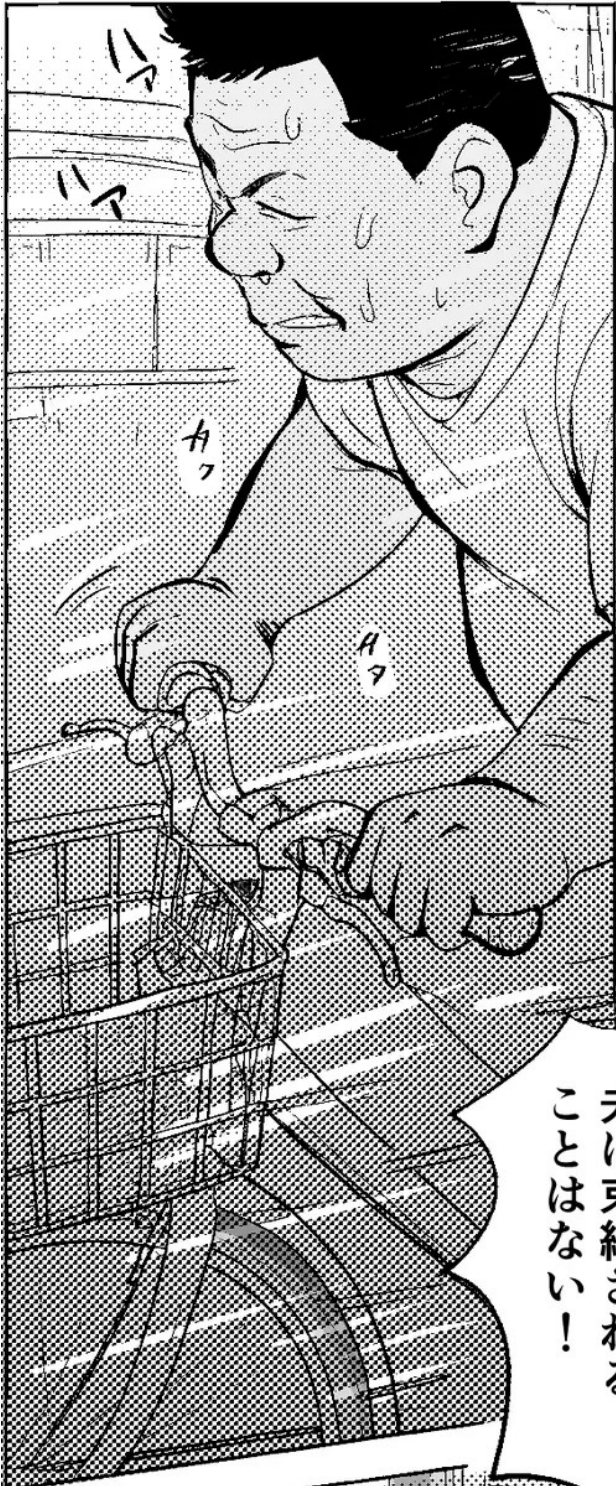
おとこ



二人はそのまま
裏通りのホテル街へと
消えていった

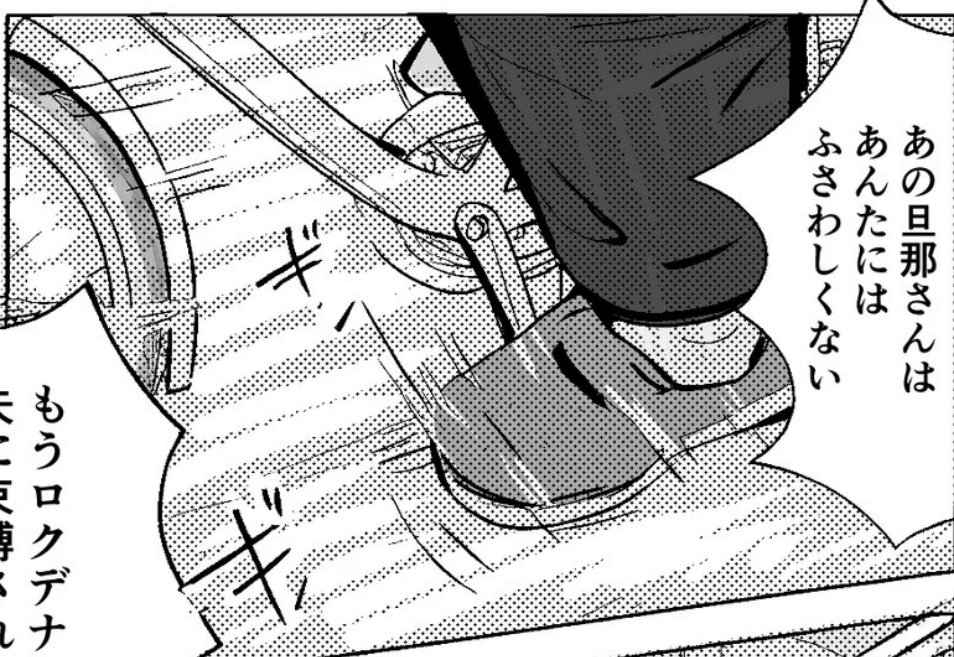
その時、二人の会話が
確かに聞こえた。

人目もはばからず
互いに「愛の言葉」を
交わすのを…



あのご主人も
不倫してんだ!

たゆ子さんに
伝えなきゃ!



あの旦那さんは
あんたには
ふさわしくない

もうロクデナシの
夫に束縛される
ことはない!



今いくから!
たゆ子さん!
ワシならあんたを
幸せにできる!

あんな亭主と
別れてワシと
一緒になろう!

ガチャ



おっ？

よお
大家の
オヤジさん

なんだいきなり
入ってこられたら
アせるじゃん

なんだか
俺たちの不倫現場
目撃されちまった
みたいでこりや
気まぢいなア〜(笑)

ま、そーゆーわけだから
オヤジさん

分かっていると思うけど
旦那さんには
ひとつ内緒で頼むわ(笑)

数時間前

ガチャ

おじゃましまーす♡

へーここが
たゆちゃんち
かり

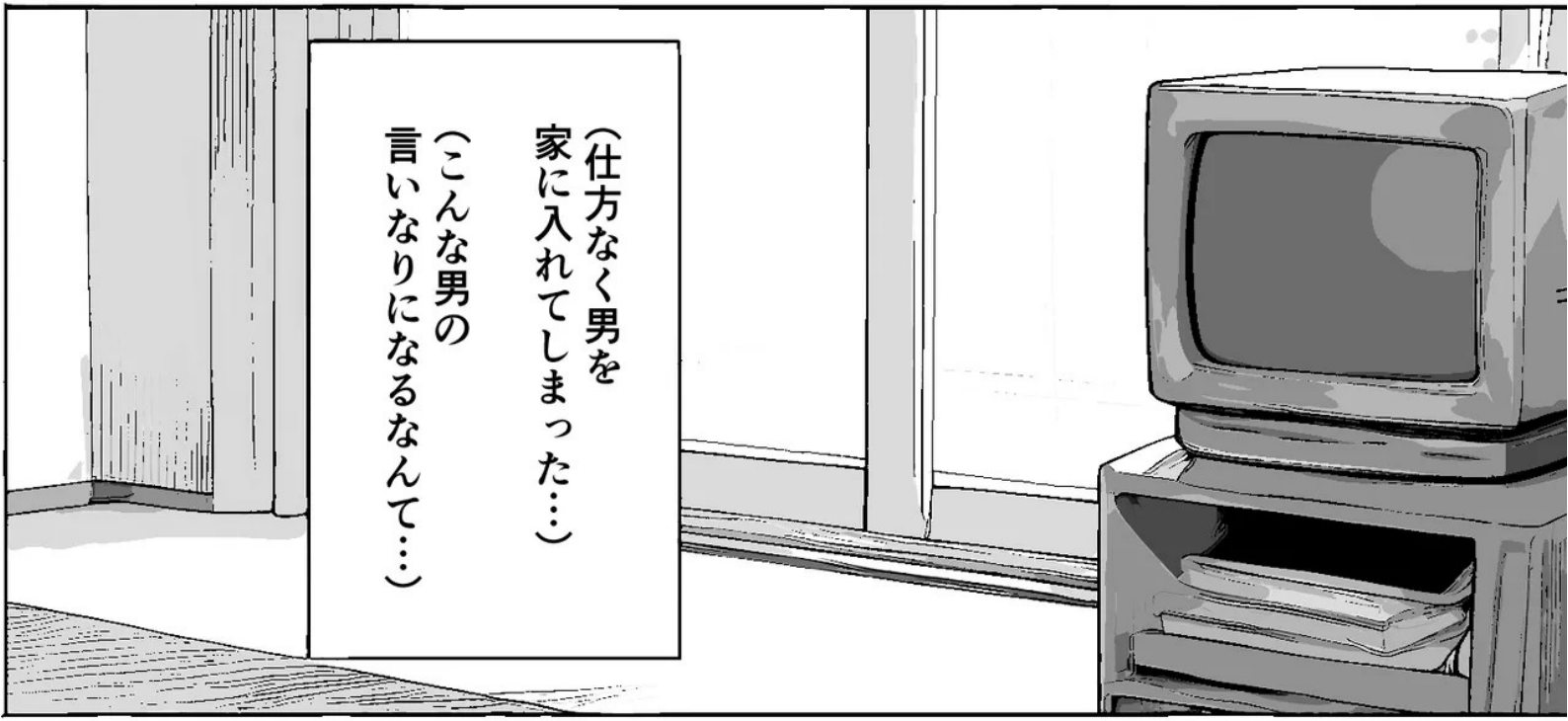
もう
布団なんか
敷いちやって(笑)

カ
ヤル気満々
だったんじゃん(笑)

いつものよーに
今日もここで大家と
一発する予定だっ
たんでしょ?(笑)

あの…するなら
なるべく早く

↑↑



俺もいっぺん
拝みたかったのよ
あんたのデカパイ

ほらほら
ちゃんと見せて
恥ずかしがらないで

ほら

うっひょー！
やらしい乳首
してんじゃん

こりゃあ
あのドスケベな
大家も夢中にな
るわけだ

ニチャア

家賃滞納の弱みに
つけこんで
チューチューしやがって
あのエロ親父め



じゃあ俺も♪

ん〜ん〜ん〜(笑)
すっげえ
バストしてんな
あんた



でもさあ、たゆちゃん
まだ新婚なのに
ダンナさんとは
ご無沙汰なんだろう?
こんな持て余して

もったいねえ〜
俺なら孕むまで
毎日3回くらい
ファックしてやるのに

あっ

あっ



ま、いいじゃん
これでアンタも少しは
罪悪感軽くなるっしょ

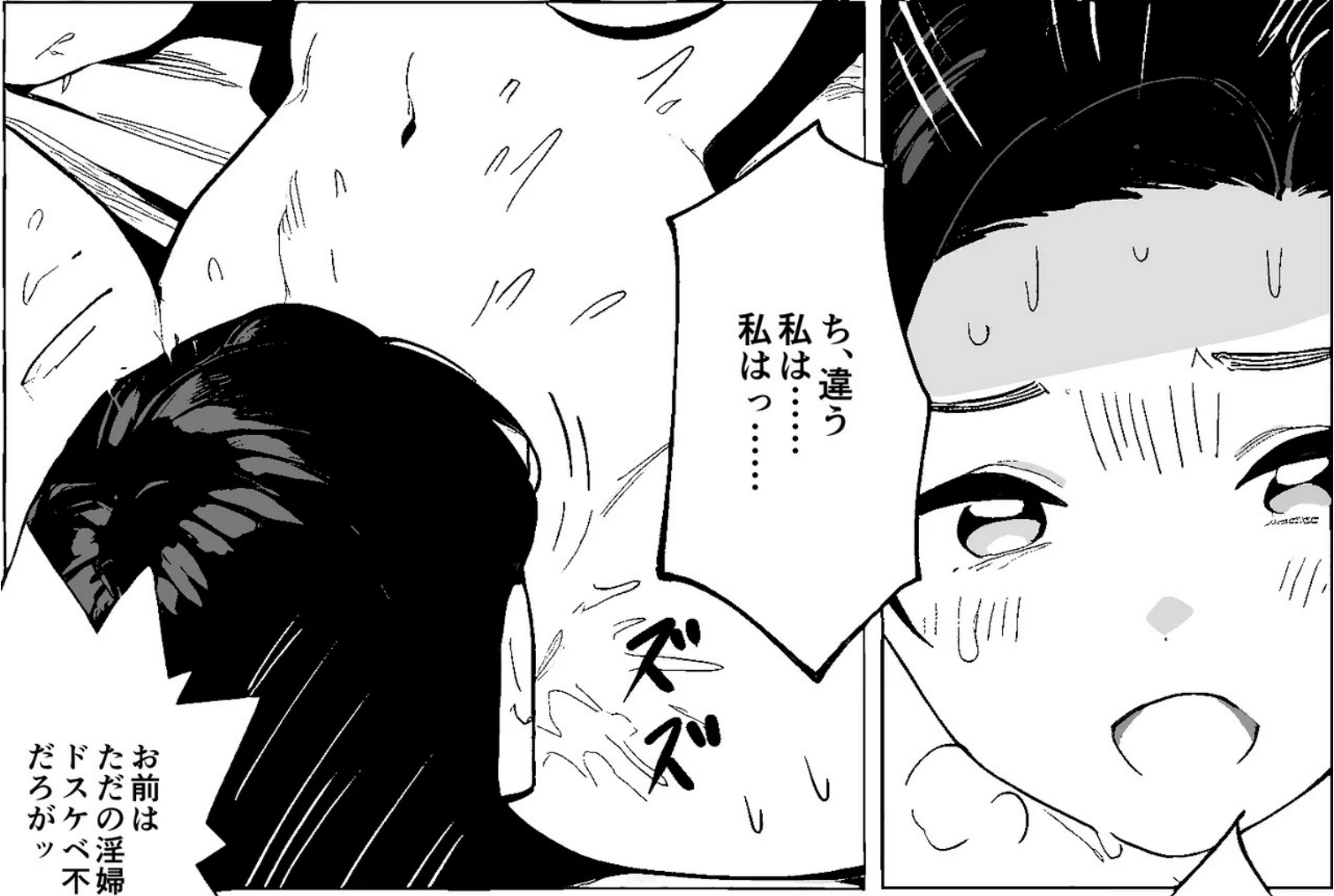


だからあんな気色悪い
デブ野郎と
不倫に走るのもわかるよ

旦那さんちつとも
嫁さんのこと
大事にしてなかった
もんなあ



これからは
たゆチャンも吹っ切れて
他の男と
エッチしまくろーぜ!



ち、違う
私は……
私は……

ズズ

お前は
ただの淫婦！
ドスケベ不倫妻
だろがッ



初対面の男に
こんな股おっ広げて
おまんこ舐め回されて
やらしい喘ぎ声出して
恥ずかしくねーのか？

あっ
いいやああ
ああっっん！

ズズ



(私はただ…普通の小さな
幸せが欲しかっただけ…)

(それなのに
何で…
こんなはずじゃ
なかったのに…)

(こんなハレンチな
行為を…)

(私は気持ちいいって
感じてしまってる…)

(嫌じゃない…
もっとしてほしい
って…)

もしかして
本当はこれが…
私が求めていた幸せ…なの？



私は……
貞淑な妻なんかじゃない……
私の本性は……
ふしだらな色情狂いの
アバズレ……だったの……？



おおすげえっ
チンポが
溶ける溶けるっ……！

人妻とは思えん
ぴちぴちのマンコだっ！

そんな答えじゃあ
納得できねえなあ

この肉欲まみれの
ドエロ淫乱ワイフ
がっ

俺のチンポの方が
いいって言えよ
このオサセビッチが
よっ!



わかりましたっ
嘘っ！嘘ですっ

許して！
本当は
貴方の
チンポが
断然！
いいっ



もう分かったっ
からっ！奥にっ
奥に突いて！

お願い！
固くて！
太いのっ！

もっと
もっと深く
ねじり込んで



よーし！分かったら
このままいくぞ
ガッツリ種付け！
全力ピストンッ！

あつヤベッ
漏れそッ！



だ、だめっ

待って！
その一線
だけはッ

止めるわけねーだろッ
生中が一番気持ちいい
んだからよーっ
責任は取らねーがなっ

ちゃんと旦那と
中出しセックスして
アリバイ作っとけよ

約束を守って！
お願い！
そのままは
だめっ
いったん
とめてえええっ

だ、め…もう…
快樂の波に押されて…
抵抗できない…

イクぞっ
うおおおおお
オラっ！

ガクッ

おっ
誰か来た(笑)

ムアアア...



たぶん大家の
おっさんだ
ずいぶん慌てた
様子で来やがって

ぐっしょ

は

は



ちようどいい
アイツに
俺たちの
ラブ&ピース
見せつけて
やるーぜ(笑)

事の顛末を大家が
目撃したのは
この後の事であった

びんち